

## 第 135 回日本獣医学会学術集会（平成 15 年春）開催要領

会長： 唐 木 英 明 （東京大学）

第 135 回日本獣医学会学術集会を下記の要領で開催しますので、ご案内いたします。

### 記

1. 会 期：平成 15 年 3 月 29 日（土）、30 日（日）、31 日（月）、4 月 1 日（火）
2. 会 場：東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部（〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1）  
地下鉄南北線「東大前」駅下車徒歩 1 分あるいは地下鉄千代田線「根津」駅下車徒歩 8 分
3. 連絡先：第 135 回日本獣医学会学術集會事務局（事務局長：小野憲一郎）  
FAX 03(5841)8183、e-mail：JSVS135@mail.vm.a.u-tokyo.ac.jp
4. お知らせとお願い
  - (1) 参加者の皆様へ
    - 1) 受付は、3 月 30 日 8：00 から 3 号館前総合受付で行います。なお、3 月 29 日は臨床獣医学系専門部会特別講演会場（弥生講堂）でも受け付けます。
    - 2) 総合受付にて参加費（一般会員 10,000 円、学生会員 2,000 円、一般会員は講演要旨集代込み）を納入し、参加章をお受け取りください。なお、学生会員は学生証を提示してください。
    - 3) 会期中は所定のホルダーに入れた参加章を、随時着用してください。
    - 4) 原則として、会場での呼び出しはいたしません。
    - 5) 会場での写真撮影、携帯電話の使用等をご遠慮ください。
    - 6) 生協食堂（農学部 3 号館地下）は学会開催中、営業しています。どうぞご利用ください。
  - (2) 演者の皆様へ
    - 1) 一般口演の講演時間は発表 7 分、討論 3 分です。時間の厳守をお願いします。
    - 2) 一般口演の映写は 35mm スライドに限定します。プロジェクターは各会場に 1 台です。
    - 3) スライドは講演開始 30 分前までに当該会場の受付でスライドホルダーに入れ試写後、係りへお渡しください。
    - 4) シンポジウム等の講演時間は各企画のコーディネータの指示に従ってください。時間の厳守をお願いします。
    - 5) 10 分前までに必ず会場にお入り下さい。
    - 6) スライドは、講演終了後各会場の受付にて返却します。
  - (3) 座長の皆様へ
    - 1) 10 分前までに必ず会場にお入り下さい。
    - 2) 持ち時間の厳守をお願いします。
5. 託児室の開設  
学会開催期間中（3 月 30 日～4 月 1 日）会場内に託児室を開設いたします。利用料金は一人、半日 1,500 円、一日 3,000 円です（兄弟で利用する場合、二人目からは半額となります）。対象は 0 歳児から小学校低学年までですが、場合によっては、担当者（動衛研・鈴木孝子）と直接相談をして下さい。託児室の利用を希望される方は、下記担当者までご連絡下さい。尚、関連ホームページ「日本獣医学会の保育室へ行く！」：<http://homepage3.nifty.com/lilai/spotshoiku.htm> の過去の利用報告を参考にして下さい。  
申し込み受付担当者：鈴木孝子 takako@affrc.go.jp
6. 駐車場：会場周辺には駐車場はありません。お車でのご来場はお断りします。
7. 平成 15 年度越智賞・日本獣医学会賞授賞式：3 月 31 日（月）13：30～13：40 弥生講堂

8. 平成 15 年度越智賞受賞者講演：3 月 31 日（月）13:40～14:00 弥生講堂  
 座長： 唐木英明（東大）  
 実験動物学および実験動物福祉論  
 前島一淑（慶応大・医）
9. 平成 15 年度日本獣医学会賞受賞者講演：3 月 31 日（月）14:00～15:00 弥生講堂  
 座長： 小沼 操（北大）  
 1) クマ類の繁殖に関する生理学および内分泌学的研究 坪田敏男（岐阜大学）  
 2) 動物の神経系疾患に関する比較病理学的研究 内田和幸（宮崎大学）
10. 2003 年アジア獣医科大学協議会（AAVS）賞受賞者講演：3 月 31 日（月）16:00～17:30 第 5 会場  
 シンポジウム：アジア各国におけるコンパニオンアニマル研究の最先端  
 座長： 林 良博（東大）  
 1) Hypoglycemic effect of vanadium diabetic dogs  
 Hwa-Young Youn (Seoul National University)  
 2) Age-related dementia-like conditions and brain lesions in dogs  
 Hiroyuki Nakayama (University of Tokyo)  
 3) Canine limb allotransplantation a clinical attempt in veterinary medicine  
 Lih-Seng Yeh (National Taiwan University)  
 4) Effect of finasteride on benign prostatic hypertrophy in dogs  
 Kaitkanoke Sirinarumitr (Kasetsart University)
11. 公開シンポジウム（日本獣医学会、日本学術会議、日本獣医師会共催：農畜産業振興事業団後援）：3 月 30 日（日）  
 13:00～17:00 安田講堂  
 食品の安全を守るために  
 総合司会： 唐木英明（日本学術会議会員、東京大学教授）  
 1) はじめに 唐木英明（日本学術会議会員、東京大学教授）  
 2) 牛肉の安全のために 小澤義博（国際獣疫事務局名誉顧問）  
 3) 漢方薬・健康食品の安全 池上文雄（千葉大学大学院薬学研究院助教授）  
 4) 食品の安全と表示規制 浜川 清（日本学術会議会員、法政大学法学部長）  
 5) リスク分析とは 森田邦雄（厚生労働省東京検疫所所長）  
 6) 安全性の保障と規制 三瀬勝利（国立医薬品食品衛生研究所前副所長）  
 7) 「食の安心」のために 小出五郎（NHK 解説委員）  
 8) 総合討論
12. 大会企画シンポジウム 1：3 月 30 日（日）14:00～18:00 第 4 会場  
 世界へ発信する獣疫免疫学 -手が検証する、我々は何をすべきか-  
 座長： 増田 健一（東大）・堀 正敏（東大）  
 1) イヌのアレルギー性疾患におけるケモカインの臨床的意義  
 前田貞俊、大森啓太郎、蔵田圭吾、増田健一、大野耕一、辻本 元（東大）  
 2) イヌの末梢血単核球において IFN- $\gamma$  を誘導する CpG-ODNs の検索  
 蔵田圭吾<sup>1</sup>、岩田 晃<sup>2</sup>、阪口雅弘<sup>3</sup>、増田健一<sup>1</sup>、大野耕一<sup>1</sup>、辻本 元<sup>1</sup>（<sup>1</sup>東大、<sup>2</sup>日生研、<sup>3</sup>感染研）  
 3) イヌ肥満細胞腫の先端的診断法と治療法の確立に向けて 田中あかね、松田浩珍（農工大）  
 4) マスト細胞 Ca<sup>2+</sup>情報伝達系とアクチン 岡 竜也、堀 正敏、尾崎 博、唐木英明（東大）  
 5) 比較免疫学的視座は本質的なものへと通底しうるか？ 後飯塚 僚（東京理科大・生命研）  
 6) 妊娠・着床過程の解明に向けて 今川和彦、永岡謙太郎、松田二子、今井美沙、高橋祐司（東大）
13. 大会企画シンポジウム 2：3 月 31 日（月）15:00～18:00 第 8 会場  
 エキノコックスを考える  
 座長： 神谷正男（OIE エキノコックス・リファレンスラボ、北大）

- 1) はじめに - エキノコックス感染源対策は急務 -  
神谷正男 (OIE エキノコックス・リファレンスラボ、北大)
- 2) ヒト多包性エキノコックス症の病態、診断、治療 佐藤直樹 (北大・医・第1外科)
- 3) ペットにおけるエキノコックス感染とその意味  
野中成晃<sup>1</sup>、奥祐三郎<sup>1</sup>、安東聡子<sup>1</sup>、立花 徹<sup>2</sup>、玉井 聡<sup>2</sup>、神谷正男<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>北大、<sup>2</sup>北小獣)
- 4) エキノコックス感染症に対する獣医師会の取り組み  
玉井 聡<sup>1</sup>、立花 徹<sup>1</sup>、安東聡子<sup>2</sup>、野中成晃<sup>2</sup>、奥祐三郎<sup>2</sup>、神谷正男<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>北小獣、<sup>2</sup>北大)
- 5) 北海道におけるエキノコックス感染源対策の試み  
奥祐三郎<sup>1</sup>、巖城 隆<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>北大、<sup>2</sup>ヒューマンサイエンス財団)
- 6) 第4類感染症におけるエキノコックス症の位置づけ  
中嶋健介 (厚労省結核感染症課)

14. 獣医学教育改善シンポジウム：3月31日(月) 15:00～18:00 弥生講堂

座長： 徳力幹彦 (日大)

米国・カナダ獣医学部のア kredィテーションについて (通訳付き)

Dr. Donald Simmons (Director of Education and Research of the AVMA)

15. 予防獣医学系専門部会ワークショップ：3月30日(日) 13:00～16:00 弥生講堂

日本の薬剤耐性菌モニタリング体制-その確立への課題-

座長： 澤田拓士 (日獣大) 高橋敏雄 (動薬検)

- 1) 薬剤耐性菌の現状と問題点 渡辺治雄 (感染研)
- 2) 諸外国の薬剤耐性モニタリングシステムと我が国の動物モニタリングシステム 田村 豊 (動薬検)
- 3) ヒトにおける抗菌薬感受性サーベイランスの現状と課題 八木澤守正 (日本抗生物質学術協議会)
- 4) 我が国の家畜衛生分野における薬剤耐性モニタリング技術とその問題点 江口正志 (動衛研)
- 5) 新しい耐性菌モニタリングシステムの展望：迅速簡便なゲノム解析による耐性菌出現の予測 掘田国元他 (感染研)
- 6) 薬剤耐性菌モニタリングに関する関係機関の連携強化について 加地祥文 (厚労省)
- 7) 日本で耐性菌モニタリングシステムを構築するための課題 (総合討論)

16. 臨床獣医学系専門部会特別講演 (共催：日本獣医師会)：3月29日(土) 18:00～21:00 弥生講堂

座長： 佐々木伸雄 (東大)

犬の緑内障 - 最近の話題から - Advances in the medical management of canine glaucoma

Nick Whelan (Massey University Veterinary School, Institute of Veterinary, Animal and Biomedical Sciences, Massey University, New Zealand)

17. 分科(学)会等のプログラム

【日本獣医解剖学会】

(1) シンポジウム：培養系を用いた生殖腺研究の新展開

3月30日(日) 15:00～16:30 第7会場

座長： 九郎丸正道 (東大)

1) ES細胞の培養系における生殖系列細胞の分化

豊岡やよい<sup>1</sup>、恒川直樹<sup>2</sup>、野瀬俊明<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>理研、<sup>2</sup>三菱化学生命研)

2) マウス未分化生殖原基の器官培養法-性分化過程におけるDNAのメチル化解析への応用例-

水上拓郎<sup>1</sup>、金井克晃<sup>1</sup>、金井正美<sup>2</sup>、平松竜司<sup>1</sup>、藤澤正彦<sup>1</sup>、九郎丸正道<sup>1</sup>、林 良博<sup>1</sup>  
( <sup>1</sup>東大、<sup>2</sup>杏林大・医)

3) 出生初期における雄性生殖細胞(Gonocyte)の増殖再開機構の研究

永野麗子 (学振特別研究員、農業生物資源研究所)

4) マウス精巢の再凝集培養

中牟田信明、小林 繁 (九歯大)

(2) サテライトフォーラム

3月30日(日) 16:40～17:40 第7会場

座長： 田中 慎 (長寿研)

1) マウス腎臓の組織構造 - 系統および雌雄の特性 -

矢吹 映 (鹿児島大)

- 2) 低酸素暴露における一酸化窒素の役割 山本欣郎 (岩手大)  
(3) 一般口演: 45 題 (A-1~45)

【日本獣医病理学会】

- (1) シンポジウム 1: イヌとネコの皮膚腫瘍の病理 -新しいWHO 分類の理解のために- Part 2  
3月30日(日) 13:00~17:00 第5会場  
座長: 中山裕之(東大) 古林与志安(帯畜大)  
1) はじめに 中山裕之(東大)  
2) WHO 2nd series の皮膚腫瘍分類 - その2 - 落合謙爾(北大)  
3) 皮膚付属器腫瘍診断の病理学的問題 山上哲史(マルピー・ライフテック)  
4) WHO 2nd series における肥満細胞腫瘍を除く皮膚間葉系腫瘍の分類 宇根有美(麻布大)
- (2) シンポジウム 2: ASIA VETPATH Symposium 2003 Pathology of Important Diseases in Asia  
March 31 (Mon), 2003 9:00 - 12:00 at Meeting Room, 4th floor, Bldg 3 (第5会場)  
Chairman: Akinori Shimada (Tottori Univ.) and Tokuma Yanai (Gifu Univ.)  
1) Rabies in South Korea: Occurrence and Pathology  
Nam-Yong Park (Chonnan National University. KSVP)  
2) Neuromuscular Pathology of Bovine Arbovirus Infections in Japan  
Kazuyuki Uchida (Miyazaki University. JSVP)  
3) The Pathology of Important Pig Diseases in Taiwan: Porcine Circovirus Type II (PCV2) Infection  
Chian-Ren Jeng (National Taiwan University. VPSTw)  
4) Clinico-pathologic Features of Selected Avian Diseases: The Philippines Experience  
Veronica A. Matawaran (University of the Philippines. VCPSP)  
5) White Egg Syndrome in Laying Quails Associated with Newcastle Disease in Vietnam  
Nguyen Thi Lan (Hanoi Agricultural University)  
6) PRRS in Thailand: Epidemiological and Pathological Studies  
Roongroje Thanawongnuwech (Chulalongkon University. VPSTh)  
7) Clinical and Pathological Lesions of Nipah Virus Infection in Pigs  
Shahirudin Shamsudin (Malaysian Veterinary Research Institute)  
8) Important Animal Disease and the Role of Veterinary Pathologists in Indonesia: Special Case  
of Poultry Myelocytomatosis  
Bambang Pontjo Priosoeryanto (Bogor Agricultural University. IVPA)
- (3) 一般口演: 41 題 (B-1~41)

【日本獣医寄生虫学会】

- (1) シンポジウム: 最近のコクシジウム症  
4月1日(火) 13:00~15:00 第10会場  
座長: 斉藤康秀(麻布大)  
1) 人のコクシジウム症 松井利博(杏林大・医)  
2) 牛のコクシジウム症 小田憲司(畜産安全研)  
3) 豚のコクシジウム - 最近の報告から - 志村亀夫(動衛研)  
4) 鶏のコクシジウム症 大永博資(日生研)
- (2) 一般口演: 37 題 (C-1~37)

【微生物学分科会】

- (1) シンポジウム: 病原微生物の宿主感染機構と病原性  
3月30日(日) 9:00~11:45 弥生講堂  
座長: 岡田信彦(北里大) 小沼操(北大)  
1) はじめに 岡田信彦(北里大)  
2) 腸管病原性大腸菌のタイプ III 分泌装置の高次構造とその機能 阿部章夫(北里大・北里生命研)  
3) Bordetella bronchiseptica のタイプ III 分泌機構依存性エフェクター蛋白質の機能解析

桑江朝臣（北里大・北里生命研）

- 4) *Salmonella* のタイプ III 分泌を介した生体防御からのエスケープ機構 岡田信彦（北里大・薬学部）
- 5) ポリオウイルスの病原性発現機構 野本明男（東大・医学部）
- 6) リバースジェネティクスを用いた狂犬病ウイルス病原性の解析 森本金次郎（国立感染症研）
- 7) まとめ 小沼 操（北大）

(2) ワークショップ：プロバイオティクスは抗生物質に代わりうるか？

3月31日（月） 10:00～12:00 弥生講堂

座長：伊藤喜久治（東大）、中澤宗生（動衛研）

- 1) プロバイオティクスの現状と有効性 伊藤喜久治（東大・農学部）
- 2) ビフィズス菌の腸管免疫調節作用およびロタウイルス感染防御作用 保井久子（ヤクルト中央研究所）
- 3) 牛腸管からの大腸菌 O157 排除を目的とした生菌剤の開発 大宅辰夫（動衛研九州支所）
- 4) 鶏における競合排除(CE)製品の抗サルモネラ作用 中村政幸（北里大・獣医畜産学部）
- 5) 乳酸菌を応用した感染症対策 五十君静信（国立医薬品食品衛生研究所）

(3) 一般口演： 101 題（DI-1～18, DB-1～26, DV-1～57）

【家禽疾病学分会】

(1) シンポジウム：鶏のサルモネラ対策 -特にワクチンの応用-

3月31日（月） 9:00～12:00 第4会場

座長：中村政幸（北里大）佐藤静夫（全農家畜衛研）

- 1) 欧米ならびにわが国におけるサルモネラ対策 佐藤静夫（全農家畜衛研）
- 2) サルモネラワクチンの有効性評価 中村政幸（北里大）
- 3) 鶏用 *Salmonella Enteritidis*(SE)不活化ワクチンの野外応用  
村野多可子<sup>1</sup>、青木ふき乃<sup>2</sup>、小俣友紀子<sup>1</sup>、石原克己<sup>1</sup>、椎名幸一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>千葉畜産、<sup>2</sup>千葉北部家保）
- 4) 鶏卵のサルモネラ汚染 -最近の話題 馬場栄一郎（大阪府大）

(2) 一般口演： 19 題（E-1～19）

【公衆衛生学分会】

(1) シンポジウム：リスクアナリシスにおける獣医学の役割

3月31日（月） 9:00～12:00 第6会場

座長：熊谷進（東大）源宣之（岐阜大）

- 1) リスクアナリシスにおける獣医学の役割—司会の言葉 熊谷 進<sup>1</sup>、源 宣之<sup>2</sup>（<sup>1</sup>東大、<sup>2</sup>岐阜大）
- 2) 感染症新法の制定とその後の経緯 吉川泰弘（東大）
- 3) 狂犬病予防におけるリスク管理 / 海外からの侵入に備えた危機管理マニュアル策定等の経緯  
井上 智<sup>1</sup>、中嶋健介<sup>2</sup>（<sup>1</sup>感染研、<sup>2</sup>厚労省）
- 4) 食品添加物のリスクアナリシス 津田修治（岩手大）
- 5) 動物用医薬品・残留農薬のリスクアナリシス 三森国敏（農工大）

(2) 一般口演： 22 題（F-1～22）

【臨床繁殖学分会】

(1) シンポジウム：獣医繁殖学技術の基本と実際

3月30日（日） 9:00～12:00 第10会場

座長：津曲茂久（日大）浜名克己（鹿児島大）

- 1) 各種サンプルからのホルモン濃度測定 中田 健（酪農大）
- 2) 犬の精液採取法および精液からの前立腺疾患の診断 河上栄一（日獣大）
- 3) 牛胚の回収、移植、体外受精用器具の開発と課題 鈴木達行（山口大）
- 4) 牛の子宮内膜組織および卵管通気検査所見の判読法 澤向 豊（酪農大）
- 5) 臨床現場における牛の難産・子宮捻転・子宮脱整復法 石井三都夫（釧路地区 NOSAI）

(2) 一般口演： 13 題（G-1～13）

【臨床分会】

(1) シンポジウム：心不全犬への 遮断薬の効果と応用

4月1日(火) 9:00~12:00 第1会場

座長： 山根義久(農工大)

- 1) 遮断薬の薬理・薬効 尾崎 博(東大)
- 2) 実験動物における 遮断薬の効果と考察 上地正美(北里大)
- 3) 実験動物モデルにおける 遮断薬の作用と効果の検討 小林正行(農工大)
- 4) 心不全犬に対する 遮断薬の効果と形態学的検討 星 克一郎(農工大)

(2) 一般口演： 68題 (H-1~68)

【生理学・生化学分科会】

(1) シンポジウム1：マクロファージ系細胞の多様性

3月30日(日) 9:00~12:00 第8会場

座長： 河南有希子(大阪府大)

- 1) マクロファージの発生・分化と多様性 竹屋元裕(熊本大・医)
- 2) 破骨細胞の分化と機能の制御メカニズム 米田俊之(阪大・歯)
- 3) 消化管運動と腸管常在型マクロファージ 尾崎 博、堀 正敏、唐木英明(東大)
- 4) ミクログリアの機能と中枢神経障害機構への関わり 中村洋一(大阪府大)

(2) シンポジウム2：遺伝子発現のエピジェネティクス制御

3月30日(日) 13:00~15:00 第8会場

座長： 田中 智(東大)

- 1) 高等植物のトランスポゾンとエピジェネティクス 田中 智(東大)
- 2) 疾患におけるエピジェネティクスな制御の異常 久保田健夫(国立精神神経セ・神経研)
- 3) 発がんエピジェネティクス 牛島俊和、金田篤志、若園邦子(国立がんセ)
- 4) DNAメチル化による細胞分化のエピジェネティクス 塩田邦郎(東大)

(3) 一般口演： 13題 (I-1~13)

【日本比較薬理学・毒性学会】

(1) シンポジウム：情報伝達系を担う鍵物質・分子のバイオイメージング

3月31日(月) 9:00~12:00 第8会場

座長： 堀 正敏(東大)、海野年弘(岐阜大)

- 1) In situでのリゾホスファチジン酸によるマウス大動脈内皮細胞の流れ刺激誘発Ca<sup>2+</sup>応答の増強 大幡久之、新岡丈治、山田英之、山本雅幸、百瀬和享(昭和大・薬)
- 2) 細胞機能を覗く分子デザイン 菊地和也(東大・薬、科技団さきがけ)
- 3) プロテインキナーゼCサブタイプのイメージングによる機能解析 齋藤尚亮、白井康仁(神戸大・バイオシグナル研)
- 4) シグナル伝達機構の動的解明を目指すイメージング 廣瀬謙造(東大・医)

(2) 一般口演： 24題 (J-1~24)

【日本実験動物医学会】

(1) シンポジウム：実験動物に対する獣医学的診断治療 - 小動物を中心に -

4月1日(火) 9:00~12:00 第9会場

座長： 浦野 徹(熊本大)、阿部敏男(武田ラビックス)

- 1) 実験動物感染症の診断 伊藤豊志雄(実中研)
- 2) マウス・ラットの緑膿菌感染における治療方法 浦野 徹(熊本大)
- 3) マウスの *Pasteurella pneumotropica* 感染の治療 八神健一(筑波大)
- 4) イベルメクチンを用いたマウスの蟻虫感染症の治療 末田輝子(東北大)

(2) ワークショップ：認定獣医師の役割

3月31日(月) 9:00~12:00 第9会場

座長： 黒澤 努(阪大)、山本 博(富山大)

- 1) 認定獣医師制度の歴史 黒澤 努(阪大)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 2) 認定獣医師試験について      | 安居院高志 (北大)          |
| 3) 大学における教育と認定獣医師制度 | 吉川泰弘 (東大)           |
| 4) 企業が求める認定獣医師      | 池田卓也 (グラクソ・スミスクライン) |
| 5) 医学研究が求める認定獣医師    | 笠井憲雪 (東北大)          |
- (3) 一般口演: 8題 (K-1~8)

18. 学会関連会議および関連集会:

3月28日(金)

アジア病理学会準備委員会 16:00-18:00 3号館 218号室

3月29日(土)

JALAM基準検討委員会	9:00-12:00	3号館水圏会議室(2階)
私立獣医科大学協会協議会	9:00-12:30	7号館A棟405号室(4階)
国公立大学獣医学協議会	10:00-12:00	2号館教官会議室(2階)
獣医生化学会学術集会	12:00-18:00	第7会場
全国大学獣医学関係者代表協議会	13:00-15:00	2号館教官会議室(2階)
日本動物原虫病学会学術集会	13:00-17:00	第6会場
獣医病理学若手教員交流会	16:00-18:00	3号館水圏会議室(2階)
日本獣医病理学会理事会	17:00-19:00	学外

3月30日(日)

微生物分科会総会	11:45-12:00	弥生講堂
日本獣医学会評議員会	12:00-13:00	第1会場
日本獣医病理専門家協会(JCVP)総会	12:00-13:00	第5会場
公衆衛生学分科会総会	12:00-13:00	第6会場
日本獣医解剖学会理事会	12:00-13:00	第7会場
臨床繁殖学分科会総会	12:00-13:00	第10会場
獣医生理学・生化学教育懇談会	15:00-17:00	第8会場
アジア獣医病理学会会議	16:00-18:00	7号館A棟405号室(4階)
私立獣医科大学協議会臨床担当者会議	16:00-18:00	3号館水圏会議室(2階)
獣医放射線学教育研究集会	16:30-18:00	第1会場
獣医公衆衛生学教育研修協議会	17:00-19:00	第6会場
臨床繁殖学教育懇談会	18:00-20:00	第10会場
学術集会のあり方検討委員会	18:00-20:00	3号館水圏会議室(2階)

3月31日(月)

臨床獣医学系専門部会総会	12:00-13:00	第1会場
基礎獣医学系専門部会総会	12:00-13:00	第3会場
病態獣医学系専門部会総会	12:00-13:00	第5会場
日本獣医解剖学会総会	12:00-13:00	第7会場
日本獣医循環器学会理事会・評議員会合同会議	12:00-13:00	7号館A棟405号室(4階)
定時総会	13:00-13:30	弥生講堂
授賞式、受賞者講演	13:30-15:00	弥生講堂
獣医学会役員OB懇談会	15:00-16:00	7号館A棟405号室(4階)
アジア獣医科大学協議会受賞講演	16:00-17:30	第5会場
比較薬理毒性学教育研究会、拡大評議員会	15:00-17:00	第7会場
比較薬理毒性学若手勉強会	17:00-18:00	第7会場
プログラム委員会	18:00-20:00	7号館A棟405号室(4階)

4月1日(火)

公衆衛生学分科会シンポジウム・プログラム委員会	10:00-13:00	7号館A棟405号室(4階)
日本獣医病理学会総会	12:00-13:00	第5会場
家禽疾病学分科会総会	12:00-13:00	第6会場
実験動物医学会総会	12:00-13:00	第9会場

日本獣医寄生虫学会総会	12:10-13:00	第 10 会場
獣疫学会総会・特別講演・一般口演	13:00-17:00	第 2 会場
動物サイトカイン研究会	14:00-17:00	第 7 会場
獣医薬理学教科書編集会議	15:00-17:00	7 号館 A 棟 405 号室 (4 階)

19. その他：本学会にかかわる情報はホームページ (<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/yakuri/135/>) に掲載していますのでご利用ください。